

令和8年度 江戸川区立一之江第二学校 人権教育 年間指導計画 (第6学年)

年間指導計画作成のための留意点 (東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム(学校教育編)』p14 人権教育の年間指導計画(例)』を必ず参照し作成すること)

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	国語「掃り道」 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える力を身に付ける。 社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」 日本国憲法における基本的人権の考え方について知り、それを尊重する意識を高める。 保健「病気の予防」 病原体が主な原因となって起こる病気の予防方法を知るとともに、HIV やその感染者に対する理解を深める。 【HIV感染者等】	国語「聞いて考えを深めよう」 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力を身に付ける。 社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」 国民主権の考え方から、政治は国民の生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを知る。	国語「聞いて考えを深めよう」 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力を身に付ける。 理科「生物どうしのつながり」 生物の間には、食う食われるという食物連鎖の関係があることを知るとともに、生命を尊重したり環境を保全したりする態度を養う。	国語「いちばん大事なものは」 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする力を身に付ける。 社会「江戸幕府と政治の安定」 戦国の世が統一され、身分制度が確立したことや、差別された人々がいたことを知り、理解を深める。 【アイヌの人々】	国語「みんなで楽しく過ごすために」 目的や意図に応じて、日常生活の中からの話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる力を養う。 社会「町人の文化と新しい学問」 伊能忠敬について知るとともに、鹿島の祖父が解割を手伝ったことから、蘭学の発展の裏には差別された人々の働きや知識があったことを知る。 【蘭学知識】	国語「海の命」 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる力を養う。 社会「世界に歩みだした日本」 人々の民主主義への意識が高まり、普通選挙や女性の地位向上、差別撤廃を目指す運動が起こったことについて理解する。 【女性】 【男女問題】 【外国人】	読書科「私の大切な1冊を紹介しよう」 友達への大切な1冊を交流を通して知り、自分の考えの大切さとともに他の人の考えの大切さも認められるような態度を養う。	社会「日本とつながりの深い国々」 日本と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子を知るとともに、自国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養う。 理科「自然とともに生きる」 食物連鎖や水・空気の循環などから、生命を尊重したり環境を保全したりする態度を養う。				
特別の教科 道徳	親切、おもいやり 本当の親切とは何かについて考えを深め、誰に対しても思いやりの心をもとうとする心情を育てる。	友情、信頼 よりよい友達関係をつくるために大切なことに気づき、友情を深めていこうとする心情を育てる。		節度、節制 自分の生活を見直すことについて考えを深め、節度を守り節制に心がけた生活を送ろうとする心情を育てる。	よりよい学校生活、集団生活の充実 学校で果たす役割の大切さに気づき、みんなで協力し合っってよりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	相互理解、寛容 異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心で自分と異なる意見を尊重しようとする心情を育てる。	公正、公平、社会正義 いじめを傍観することのひきょうさに気づき、差別したり偏見をもたせぜず人間関係を築いていこうとする判断力を育てる。	礼儀 礼儀作法にこめられた相手に大切に思う気持ちに気づき、真心をもって人と接していこうとする実践意欲を育てる。	家族愛、家庭生活への充実 家族の幸せを求める心に気づき、家族の幸せのために役立とうとする心情を育てる。	規則の尊重 インターネット上のきまりを守る大切さに気づき、すすんでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。【インターネットによる人権侵害者】	国際理解、国際親善 国際親善のあり方についての考えを深め、国際親善に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	
総合的な学習の時間	日光の自然や文化を学ぼう 日光の自然や文化について自分で課題を設定し、調べ学習をしてパンフレットにまとめる。				自分の将来を見つめよう 様々な職業について調べ活動を行い、自分の将来についての考えを深める。				卒業に向けて 今までの6年間を振り返り、お世話になった方々に感謝の気持ちを表すとともに、中学生に向けて決意を新たにす。			
特別活動	1年生を迎える会 1年生に歓迎の気持ちを伝える。		1年生と交流しよう 1年生の手伝いや遊びを通して、よりよい人間関係を築く。								6年生を送る会 在校生に感謝の気持ちを表す。	
その他	いち・にの・くれよん(保護者ボランティア)による読み聞かせ											
	保護者会 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	個人面談	保護者相談日	保護者会	保護者相談日		個人面談 家庭と連携を取り、児童理解を深める。	道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。	保護者相談日	保護者会		

「 」=個別的な視点からの取組(末尾の「 」内は人権課題) ↔ =関連的な指導 〓 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。